



館報 まつかわ

松川町公民館報
第695号
令和3年10月15日

町の川 ③⑥ 前沢川 (大沢北部)

の文化遺産を巡る

新宮ヶ瀬橋と取付道路
工事が進み全容が見えて
参りました。貴重な遺跡
が発掘され、貴重な遺産
が取り壊されることなく
移設されました。そこで
館報を通じて紹介します。



馬坂遺跡



移設された辨天宮

弁天岩は巨大すぎるため何分
割かにされて移し元の姿によみ
がえています。



移設された刎ね

それぞれの石はそのまま元の
ように積みられています。三六災
害以降刎ねの上に水神として祀
られていた九頭龍太神/手力雄
太神は前河原土地改良記念碑横
に移されています。

11月20日(土)

地域を知る講座

『晩秋の伊那坂東三十三番札所
& 新宮ヶ瀬橋周辺の
文化遺産巡り』

を予定しています。
参加をお待ちしております。

牧ヶ原【辨天宮】と

【刎ね】について

宮ヶ瀬橋の架け替え工事に伴
い、元の鎮座地が橋台部等にな
るために移設されました。ここ
で牧ヶ原辨天宮と刎ねについて
紹介をします。

牧ヶ原辨天宮の御祭神は

辨天宮 弥都波能買神

九頭龍神 瀬織津費買神で

す。牧ヶ原辨天宮が何時から祀
られたのかの記録はないが、正保
四年(一六四七年)十二月の絵図
に辨財天、弁天岩の記載があるこ

新宮ヶ瀬橋周辺

大規模礎石遺構

馬坂会所付近の竹越遺跡発掘調査現場から、平安時代（約1000年前）とみられる特異な構造物が発見されました。およそ1.5×1.0mの大きな花崗岩平石が18個、ほぼ平らに並べられています。一見、建物の礎石のように見えますが、礎石にしては規模が大きすぎ、配置もやや不規則かとも思えます。第一に、古代にこれだけの規模の礎石を持つ建物とすれば、国家が関わった官設の寺院や神社等、瓦がのったごく特別な建物に限られるそうです。調査後はそのままの状態で見られるように、敷地とされています。



大規模礎石遺構



前河原土地改良記念碑の横に移設された九頭龍大神と手力雄太神碑（写真右側2碑）



移設前の弁天岩



移設前の巨大な刎ね

とから、この時以前より上新井の人々により天竜川の氾濫原であるこの地の鎮守とし、また田畑の守護神として弁天様と称え尊ばれ奉斎されてきたと思われます。

令和元年（二〇一九年）宮ヶ瀬橋の架け替えにより、元の鎮座地が橋台部等になるため移転となりました。

辨天宮の弁天岩は前河原築堤の基点で、台城を結ぶ線が理想の堤防でした。弁天岩の南にある大きな石積は天保十年（二六三九年）に造られ、部奈の下の岩盤に当たった天竜の水がその反動で新井側に向かってくるのを弁天岩と共に受け止め弾き返す強固な「刎ね」です。刎ねの上には三六災害のあと水神として九頭龍大神、手力雄太神が祀られた。今日の「前河原」と呼ばれる広大な農地が治水と水害の歴史を物語っているという内容が碑に刻まれています。

『弁天岩』といくつかの『刎ね』は天竜川の水害から守るために先人たちが築いた貴重な遺産です。地元の人達や工事関係者のご尽力により貴重な文化遺産として残されています。

新しい宮ヶ瀬橋が開通した折にはご覧いただきたいと思えます。



連続企画

近頃よく目に付きませんか？

ゴミのポイ捨て

最近道端にごみがよく捨てられている気がします。

空き缶、ペットボトルはもちろんのこと（無論そもそも捨ててあることがおかしいですが）ビニール袋いっぱいにまとめられ、そのまま捨てられているようなものまで見受けられます。

ゴミをあちこちに捨てるという選択を持ち合わせていること自体、悲しいことですね。



例えば捨てられたプラスチックはマイクロプラスチックになり、畑の土や海の魚に取り込まれ、いずれ人の体に返ってくるのです。

こんな小さなポイ捨てが、いま世界で大問題となっていることに直結しているのです。

これが現実

町内に捨てられていたゴミを撮影してきました。悲しいかな、すぐに・たくさん見つけられました。（撮影後、すべて編集部で拾って、分別致しました。）

* 田んぼの中にも



・ 精魂込めて農作物を作っている方々は悲しむことでしょう。

* 松川大橋



・ 役場の環境係と共にゴミ拾いを行いました。
・ 車から投げ捨てているのか？ 欄干の向こう側にまでごみが。
・ ものの30分でこれだけの量が集まりました。

* 大型の不法投棄（役場提供）



役場提供

・ このような大型のものが町内に捨てられていることもあります。わざわざ運んできて捨てる方がよっぽど手間がかかる気がしますよね。

ほかにもまだまだ…



役場提供

美しい町を汚さない

このような社会を憂いたくなる状況ですが、町内の様々な団体が、ゴミ拾い・環境整備の活動を行っています。

次月号ではこのような皆さんの素晴らしい活動を紹介いたします。お楽しみに！



地域を知る講座

『晩秋の伊那坂東三十三番札所と
& 新宮ヶ瀬橋周辺文化遺産巡り』

- ◆実施日 11月20日(土)
- ◆定員 25名 マイクロバスで移動します
申込、問合せ先:中央公民館 ☎36-2622



住職からお話をお聞きします



講師:酒井先生



円満坊から新宮ヶ瀬橋や晩秋の松川の景色を眺めましょう

- ◆伊那坂東三十三番札所:瑞応寺⇒実相院⇒嶺岳寺⇒道知庵⇒円満坊
- ◆新宮ヶ瀬橋周辺遺産:辨天宮⇒刎ね⇒馬坂大規模礎石遺構

第36回松川町駅伝大会

交通規制にご協力お願いします

11/7・9:10・スタート!

今年度はコースが変更となり、中央小学校から神護原までの道のりを1周する約2.5kmの周回コースを予定しています。大会当日の競技時間中(9:00~11:00)において交通規制を行います。規制を行わない箇所につきましてもランナーの走行にご配慮をお願いします。大変ご迷惑をお掛け致しますが、安全で楽しい大会になるようご理解とご協力をお願い致します。



トランポリン教室

- ◆日時 11月25日(木) 12月7日(火) いずれも19:00~21:00
- ◆場所 松川町民体育館アリーナ
- ◆対象 小学生以下
- ◆持ち物 運動のできる支度、上履き、印鑑、マスク
- ◆申込み 11月12日(金)までに中央公民館えみりあまでお申し込みください。
※定員があります(各30名程度)
- ◆主催 松川町中央公民館 体育部



長野県公民館功労者表彰受賞

神田康憲さん

元中央公民館 体育部長



令和 3 年度長野県公民館功労者表彰を受けられた神田康憲さん。松川町公民館本館体育部長として 19 年間で長きにわたって活躍されてきました。

想は「引継ぎもでき、やるべきことはやれてすっきりした」と語ってくださいました。体育部としてかかわってきた中で特に思い出に残っていることは、駅伝大会とトランポリン教室で「駅伝大会ではコース変更があった際に会議を重ねてより良いコースや運営を模索したこと、トランポリン教室では子ども相手ということもあり言うことを聞かせるのが大変だったりしたが子どもたちとがふれあいがで

き楽しかった」そうです。今後については「体育部長長くやっている人たちがここ数年続けてやめているので心配な部分もあるが、出来ることをやってくれれば良くなっていけると思う、また一町民としては何らかの形で公民館活動に協力していきたいと思えます」と語ってくださいました。

長い間の公民館活動お疲れさまでした。

すぽと

「路傍の石造展」開催中

松川町資料館では現在、階段通路にて「路傍の石造展」を開催しています。

道祖神や馬頭観音、庚申塔など、石によって造られた石碑や石仏は一般に「石造物」や「石造文化財」などと呼ばれ、私たちにとって身近な文化財の一つです。町内には二千以上の石造物があることをご存じでしょうか。日々何気なく通り過ぎている道沿いにも、少し目を向けてみると

多くの石造物があることがわかります。何十年何百年と変



わらず佇む石碑や石仏に人々は地域の安寧や繁栄の願いを込めてきました。そんな先人たちの願いや祈りに思いを馳せながら、地域の石造物をゆつくり眺めてみませんか。

「路傍の石造展」では、町内各所にある石造物約 100 点を種類ごとに展示・解説しています。なかには「猫神」などの少し珍しいものも紹介しています。ぜひお越しください。

（開館時間 10 時～17 時 水曜休館）

ゆるゆるお茶会

松川中央小学校

パラリンピアンと

交流会して

・シエルマン選手が実さいに、パラリンピッツで使用した足や銀メダルと金メダルを見せてもらいました。
・き足に慣れるまですこく時間がかかったそうです。
・ど力は実をむすぶつて事を教わりました。
・メリツサ選手が目のように雪つて聞いて、うまれたときから片目が見えない。

それから、どんどん両目が悪くなつていく、でもあきらめずに頑張っているって聞いて「すごい」と思いました。
・障害を持つたとしても、あきらめずにスポーツをやっているのがすごいと思つた。メダルに点字が書かれているのを見て、視覚障害者のメダルだと思つた。
・質問の時も笑つたりしてくれてとても楽しかつた。帰るときに手をふつてくれたしお土産もくれて一生の思い出になつた。

短歌

桃澤 幹子（諏訪形）

初めての隣組姑嫁おやこの食事会

コロナ菌にて土壇場の中止

四姉妹ホテルを癸ちて治部坂え

平谷売木と湯めぐりドライブ

竹やぶを吹き抜け聞こえる虎落笛

亡夫の吹きいし草笛と重なる

亡夫送り早や十三回忌墓誌の戒名と

並ぶ朱の文字 吾行く花園

九十一歳の姉望みたる母の里

墓参叶えて「観陽丘」に憩う





アンドレア選手

声 松川中学校 生徒有志

**コスタリカ選手との
交流を「創る」**

8月3日～5日
オリンピックの事後交流



ジェラルド選手

- ・コロナの影響で、出来る交流の内容決めに時間がかかってしまった。
- ・正直忙しくて大変でした。「交流するまで長ッ」と思ってたけど、めちゃくちゃあつという間だった。

- ・最初はうまくいくか不安だった。
- ・企画などゼロから作っていくことに最初は正直不安でした。
- ・学年が違い、話したこともない人がほとんどだったが、ニックネームをつけて呼び合うようになった。
- ・案出しからいろんな意見がたくさん出て、まとまるのかな？

●事前準備について



みんなで考えて進めた会議



ドキドキの交流会…さあ スタートです！

- ・最初はすごく緊張していたけど、コスタリカの選手や大使たちが優しくかったので、とても嬉しかったです。
- ・当日はとても緊張しました。
- ・余裕があったから、自分的には良く出来たと思います。
- ・選手や大使に楽しんでもらって、自分も楽しかった。
- ・自分が主体となって企画したジェスチャーゲームでは、やりがいを感じました。
- ・少しわちゃわちゃしてしまつた所もありましたが、特に問題もなく出来たので良かったです。

●当日の運営について

- ・オリンピック選手や大使に会えることはなかなかないので、とても貴重な時間でした。
- ・言語の壁はかなり大きく感じました。
- ・名前を言うときに悩んでしまつた。
- ・国が違つても、ジェスチャーゲームや南京玉すだれ・書道を仲良く出来て驚いた。
- ・選手の皆さんの字がきれいで、こつちが教える立場で良いのかな？って思いました。
- ・選手と直接かわる場では、自分から積極的に声をかけたり、たくさん会話が出来て良かったです。

●選手と交流してみても



みなさんお上手ですね

◎2022年

季節は秋になり涼しくなってきました。今年の夏は、長雨の影響で例年より涼しく感じ、暑い夏もあつという間に過ぎたように思います。

涼しくなってきたことで趣味の散歩が快適な気候になりました。自然にふれることが好きでよく散歩をしています。先月の暮れには、道端にコスモスが咲き誇り、田んぼでは稲刈りが始まり、秋の訪れを感じました。散歩の醍醐味は、季節の変化が感じられることです。春夏秋冬それぞれで、同じ街でも違った雰囲気を感じられることが楽しみです。特にこれからの時期は、遠くから木々が色付き、紅葉の季節が訪れます。遠くを見てゆつたり歩くことで日々の疲れがとれ、気分転換になりますし、血行も良くなり、体がぼかぼかします。健康の維持のためにもいい運動になりますね。

紅葉の季節が終わると、寒さが一層厳しくなりますが、今後も風景を楽しみながら続けていきたいです。

関島幸祐

公民館報
「まつかわ」
第 695 号
令和 3 年10月15日

発行所 松川町公民館 隆
責任者 山崎 編
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷株式会社

再生紙を使用しています。